

本別町



電子レンジで!「十勝ポップコーン」



ひまわり迷路

「わが村は美しくー北海道」運動第10回コンクール応募団体

前田農産食品株式会社

【本別町】

電子レンジで作れるポップコーンを商品化

はじめは？

小麦やポップコーンを通じて本別町をたくさんの方に知ってもらいたいという願いを込めて前田農産食品は小麦粉や十勝ポップコーンの製造に取り組みました。生産者の顔が見える小麦、ポップコーンとして自社で収穫、乾燥、調整をしています。お客様の顔が見たいという思いから、前田農産WEBショップでの販売を行い、ご意見やご感想をお問合せフォームから直接聞くことで、お客様とのつながりをより深く持つことができます。

こうした農産物を通して本別町を知ってもらうことが本別町の地域活性化に繋がるため、前田農産食品は日々活動しています。

おもな活動

「私たちはお客様と共に種をまき、共に育ち、わくわく感動農業を実践します」の経営理念を基に農産物のポップコーン、5品種の小麦を育て色々なお客様に本別町前田農産食品の農産品を楽しんでいただけるよう、日々十勝ポップコーンの製造や小麦の育成をしています。そして毎年秋には、小中高生の最高学年に食育の授業の一環として、ポップコーンの収穫をしてもらいます。直接自分たちが畑に入り、自らの手で収穫することで本別町でしかできない農と食の体験をしてもらっています。十勝ポップコーンはWEBショップを通じての販売のほか、本別町の道の駅やスーパー、道内外の色々なお店で取り扱っています。このような販売を通じて、十勝ポップコーンや小麦粉を知ってくれた方が喜んでもらえるよう農産物を生産しています。

ここが自慢

【ひまわり迷路の運営】

令和元年7月に、4.5haのひまわり畑を迷路にした「ひまわり迷路」のイベントを開催しました。このひまわり迷路の図案は本別町の小中高生にアイデアを募集し、その図案をもとにGPSトラクターで迷路を作成しました。当日は北海道立農業大学校や、本別高等学校のボランティア部とともに、「ひまわり迷路」を運営しました。また、飲食販売スペースでは前田農産食品の小麦粉を使用したホットドッグを販売し、ドローンの実演もしたことで、よりイベントが盛り上がりました。道内からのお客様はもちろん、道外からのお客様に本別町を知ってもらえる良いきっかけとなりました。また、「ひまわり迷路」のひまわりは、その後に収穫しパンに加工して町内の学校給食に提供しました。

また、ひまわりを使用したドレッシングの開発にも着手し、農業と食の可能性をお客様に提供したいと思っています。

連絡先

代表者名：前田茂雄さん／設立：1951年／会員：13名

住所：中川郡本別町弥生町27番地1

電話番号：0156-22-8680

F A X：0156-22-0015

E-mail：info@co-mugi.jp

U R L：https://www.co-mugi.jp/